

第3 新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき 農業経営の基本的指標

- 本県で現に展開されている経営事例を踏まえ、第1の5で示した所得目標の達成を可能とする、新たに農業経営を営もうとする青年等が目標とすべき農業経営の指標として、本県における主要な営農類型を例示すると以下のとおりです。

なお、例示は、新たに農地等を確保して就農する場合や親の経営から独立した新たな部門を起こす場合を想定しています。

組織形態	営農類型
個別経営体 ^{※1}	露地野菜専作（こまつな＋ほうれんそう） 露地野菜専作（ねぎ） 施設野菜専作（いちご）

※1) 個別経営体

「個別経営体」とは、個人又は法人の経営形態で、労働力構成として経営主1名とその家族ないしは雇用労働者1～2名程度で営まれることを想定しています。

個別経営体（家族経営）

営農類型	露地野菜専作(こまつな+ほうれんそう)		
規模	畑 90a（借入地 90a） 労働力 家族 2人（主たる従事者 1人）		
所得及び労働時間	主たる従事者：所得 279 万円/人、労働時間 1,564 時間/人 (経営体として労働時間 3,128 時間、家族労働 3,128 時間)		
生産方式	<p>[資本装備]</p> <p>トラクター、動噴、軽トラック、作業舎、冷蔵庫</p> <p>[技術内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌分析による施肥管理 ・ 生産性及び耐病性の高い品種の採用 ・ 品種に応じた栽培管理 ・ 防虫網の活用 		
経営管理の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農作業日誌の記帳活用 ・ パソコンなどの活用による経営管理 		
農業従事の態様	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期的な休日の確保 		
【算定根拠】			
$\text{農業粗収益} - \text{農業経営費} = \text{農業所得}$ $586 \text{ 万円} \quad 306 \text{ 万円} \quad 279 \text{ 万円}$			
1 品種構成			5 所得率
こまつな（きよすみ）			47%
ほうれんそう（サプライズほか）			6 単位当たり労働時間
2 規模			261 時間/10 a
こまつな（夏どり）	30 a		7 借入地面積
ほうれんそう（秋冬どり）	60 a		90a
ほうれんそう（春どり）	30 a		8 10a 当たり借地代
3 10 a 当たり生産量			20,000 円
こまつな（夏どり）	1,840kg		※補助事業の活用、中古農機の購入等により、減価償却費を 80%に圧縮
ほうれんそう（共通）	1,200kg		
4 単価			
こまつな	200 円/kg		
ほうれんそう（共通）	440 円/kg		

個別経営体（家族経営）

営農類型	露地野菜専作（ねぎ）		
規模	畑 70 a（借入地 70a） 労働力 家族 2人（主たる従事者 1人）		
所得及び労働時間	主たる従事者：所得 279 万円/人、労働時間 1,499 時間/人 (経営体として労働時間 2,998 時間、家族労働 2,998 時間)		
生産方式	[資本装備] トラクター、動噴、軽トラック、作業舎、育苗ハウス、皮むき機 [技術内容] ・ 土壌分析による施肥管理 ・ 耐寒性・晩抽性等栽培時期に適した品種の採用		
経営管理の方法	・ 農作業日誌の記帳活用 ・ パソコンなどの活用による経営管理		
農業従事の態様	・ 定期的な休日の確保		
【算定根拠】			
$\text{農業粗収益} - \text{農業経営費} = \text{農業所得}$ $664 \text{ 万円} \quad 385 \text{ 万円} \quad 279 \text{ 万円}$			
1 品種構成	4 単価		
秋冬ねぎ（夏扇、龍ひかり、羽生一本太ほか）	秋冬ねぎ	260 円/kg	
春ねぎ（龍まさりほか）	春ねぎ	260 円/kg	
初夏ねぎ（春扇）	初夏ねぎ	400 円/kg	
夏ねぎ（初夏扇、羽生一本太ほか）	夏ねぎ	290 円/kg	
2 規模	5 所得率		
秋冬ねぎ 40 a	42%		
春ねぎ 10 a	6 単位当たり労働時間		
初夏ねぎ 10 a	428 時間/10 a		
夏ねぎ 10 a	7 借入地面積		
3 10 a 当り生産量	70a		
秋冬ねぎ 3,250kg	8 10 a 当たり借地料		
春ねぎ 3,250kg	10,000 円		
初夏ねぎ 3,500kg	※補助事業の活用、中古農機の購入等により、 減価償却費を 80%に圧縮		
夏ねぎ 3,500kg			

個別経営体（家族経営）

営農類型	施設野菜専作（いちご）	
規模	ハウス 2,100 m ² （育苗ハウス 300 m ² 含む） （借入地 3,000 m ² ） 労働力 家族 2人（主たる従事者 1人）	
所得及び労働時間	主たる従事者：所得 278 万円/人、労働時間 2,000 時間/人 （経営体として労働時間 4,000 時間、家族労働 4,000 時間）	
生産方式	[資本装備] ハウス、トラクター、防除機、畦上げ機、灌水施設、暖房機、育苗ハウス、作業場、倉庫 予冷庫、直売所、トイレ [技術内容] ・充実した苗が確保可能な育苗管理 ・土壌分析による施肥管理	
経営管理の方法	・パソコンなどの活用による経営管理 ・農作業日誌の記帳活用	
農業従事の態様	・定期的な休日の確保	
【算定根拠		
$\begin{array}{rcccl} \text{農業粗収益} & - & \text{農業経営費} & = & \text{農業所得} \\ 972 \text{ 万円} & & 694 \text{ 万円} & & 278 \text{ 万円} \end{array}$		
1 品目及び規模	6	1 時間当たりの雇用労賃
いちご 1,800 m ²		なし
2 生産量	7	借入地面積
5,400kg (3,000kg/10a)		30a
3 単価	8	10 a 当たり地代
1,800 円/kg		50,000 円
4 所得率		※補助金活用により減価償却費全体を 82%に圧
29%		
5 単位当たり労働時間		縮
2,225 時間/10a		